

平成 22 年度最終 spicafe 「盆栽美術館見学」のご報告

担当：山口

早くも 8 月も終わりに近づき今年も終盤にさしかかりつつあります。

皆様いかがお過ごしでしょうか・・・

今年、東日本は 3 月に大きな震災に見舞われ、まだ予断を許さない状況でもあります。

日本は地震国ですので今後も全国的に震災のおこるリスクを擁しています。

9 月には防災の日もありますが災害への備えは必要な事で、常に気を配りたいものです。

大変遅くなってしまいましたが、その震災を思い出す 3 月に行ないました spicafe のご報告をさせていただきます。

【 大宮盆栽美術館 見学 + 周辺（盆栽村）散策 】

日時 平成 23 年 3 月 9 日（水） 13：30～16：00

場所 大宮盆栽美術館→蔓青園→盆栽四季の家→清香園

参加人数 正会員 3 名（お仕事の関係で当日間に合わず 1 名不参加となりました）

盆栽美術館はギャラリー（1F）と 別棟の企画展示室、そして盆栽庭園からなり美術館全体が、ゆったりとした空間でとても落ち着いたたたずまいです。

ギャラリーに展示されているおよそ 9 点の盆栽は、どれも選び抜かれた優品ですので大きく立派で迫力があり、大変見ごたえがありました。

また庭園には、40～50 点ほどの、季節に合わせた見ごろの盆栽が展示されています。3 月の初めということもあり緑の色はまだ少し浅く艶もない感じでしたが、名残の梅を見ることができました。（盆栽広場ではその週のおすすめの 1 点の展示があり写真に収める事ができます。それとロビーの季節の一鉢 1 点のみが撮影可です。）

盆栽鑑賞もさることながら、美術館の建物についても是非見学をおすすめしたい、凜とした和の雰囲気、鑑賞にたるところでした。

参加された方からの感想にも「建物が良かった」とのお声がありました。

庭園に出る手前には「座敷飾り」というコーナーが設けられているのですが、部屋の格式を真、行、草の 3 つに分けてそれぞれ空間として造り込み、伝統的な和室の格式にあわせた盆栽の飾り方を鑑賞できるようになっていました。あくまでもメインは盆栽なのですが、座敷のつくり（全体や細部のディテール、例えば欄間や天井、床の間など）としつらいを並んだ状態で実際に比較しながら、さらにそこに盆栽を見る事は、個人的には経験として初めての事で、とても興味深い内容でした。

真、行、草は「書」や「いけばな」のなかでも、かたち（体）をあらわす方法としてありますが、和の空間と盆栽にも概念としてはそれらと共通するものがあるのかと少しの意外性+思わず納得してしまうような、大変わかりやすい良い展示だと思いました。

企画展示室では「美術」になった「石」・水石の愉しみ」というテーマの展示がされていました。水石の鑑賞とは、小さな石を山などに見立て、そこに大自然の縮景を見て取ろうとするもので、基本的な見方、愉しみ方は、盆栽の場合と共通しているとの事です。こちらも、どちらかというとな静的な世界ですが、自然の大きさと悠久の時間が感じられおもしろかったです。

さいたま市営の美術館としての規模から考えますと内容は大変充実したのですが、入館料は300円ととてもリーズナブルです。

時間があれば季節ごとに気軽に訪れたいようなステキなところでした。

この時、ご参加いただきました人数が少なかったことは少し残念でしたがもし機会がありましたら、またご興味がありましたら、土呂の駅からもすぐ（5分ほど）ですし、ご見学されてもよろしいのではないかと思います。

美術館の後は2月8日にリニューアルオープンしたばかりの「曼青園」：現代数奇屋造り（無料で気軽に見学させていただきました。）と「清香園」（有料）を見学しました。

補足ですが、無料駐車場をはさんで手前の隣に「四季の家」という市の施設があり、ここも木造平屋建の和の建物で、休憩室は開放されており無料でどなたでも利用可能です。奥に和室がふた間あり（11畳と12.5畳）そちらは有料（各室午前220円・午後330円・夜間450円）ですが、茶会、句会、会合等に利用する事ができます。申込は使用希望日の3ヶ月前から受付されています。空いていれば当日でも大丈夫との事でした。ただし、わざわざ出向いて予約申込をしなければなりませんので～それだけは市の施設はどちらも少々不便ですね・・・。

近くには氷川神社、大宮公園、市立の漫画会館などもあり、緑豊かな、文化の香り高いエリアです。土呂に長く住んでおられる知人からですが、落ち着けるカフェとして「三本松」という一部ギャラリー風にもなっている和風のお店も教えていただきました。

大きく立派な住宅も多くあり、そぞろ歩いて東武野田線の大宮公園駅に向かい、予定していた駅前のcoco caféから急遽変更して大宮に出ることに。ルミネ2の4Fにあるイタリアンのお店（La Voglia Matta）で1名途中参加されて4名でのお茶タイムを過ごし、おもに調査・研究の打ち合わせを行い無事お開きとなりました。

以上、ご報告が大変遅くなりました事深くお詫び申し上げます。